

No.60

特定非営利活動法人(NPO法人)
建築ネットワークセンター
〒162-0042 東京都新宿区早稲田町74番地
鯉淵ビル301
TEL 03-6457-3178 FAX 03-6457-3179

http://www.kenchikunet.org E-mail:kenchiku@d2.dion.ne.jp

■2021秋の講演会(新宿区後援)

持ちこたえているうちに将来への備えを!

「コロナ禍で変わる消費生活と価値観」 板垣淑子氏(NHK)

恒例の秋の講演会は、NHKの板垣淑子氏(ニュースウォッチ9編集責任者)を講師に迎え、今社会で何が起きているのかを報告していただきました。板垣氏にご登場いただくのは2018年以来、3年ぶり2度目です。秋の講演会は新宿区の後援を得て行われましたが、加えて今回は「新宿区消費者活動促進等事業」で助成事業認定を受け開催することができました。会場(新宿区消費生活センター)とオンラインを併用して行うのも初めての試みです。

今回のテーマは「コロナ禍で変わる消費生活と価値観」です。2年間で購買方法や支出内容など私たちの生活様式は大きく変化しました。それらは定着し、これからも続いていくでしょう。

板垣氏は、コロナ禍で最も影響を受けた階層、顕在化した現象について、「弱者がさらに追い込まれ、貧困の底が抜けた」と指摘します。

たしかに独り暮らしの高齢者や女性、外国人労働者(技能実習生)などがこれまで以上に苦境に追いやられています。2020年3月の一斉休校でいきなり子供の預け先を失ったシングルマザー、仕事を失った外国人技能実習生は生活の基盤を崩されました。2020年7~8月の女性の自殺率が前年より倍増した事例などは記憶に新しいところです。

さらに板垣氏は、孤立する高齢者、とくに独り暮らしの女性高齢者の増大が大きな社会問題になっている現状を指摘しました。独り暮らしの高齢女性は400万人以上、男性の二倍とされています。貯えもなく、自立した生活ができず、また助けも呼べず、社会を彷徨う高齢女性が増えていると言います。

コンビニで100円のパンを買えずに万引きを繰り返し刑務所に収容される高齢女性受刑者。「刑務所が福祉施設化し、終の住処になりにかねない」という現実。また認知症が進んで、散

歩に出て家に戻れず数年間放浪してから保護されたケースもあります。独り暮らしの高齢者の問題はコロナ感染拡大以前から警告されていて、これからさらに深刻化していきます。抜本的な解決策を模索していかなければなりません。

コロナが治まったとき、眼前にあるこれらの問題をわたしたちはどう処理していかなければならないのでしょうか。板垣氏は「日本の社会はまだ

なんとか持ちこたえています。しかし今のうちに将来に備えなければ取り返しのつかないことになるでしょう」と警告を發します。

(講演会は2021年10月23日に開催)



板垣淑子
1970年生まれ。東北大学法学部卒業。1994年NHK入局。報道局制作センター、仙台放送局、報道局社会番組部、名古屋放送局報道部を経て、「ニュースウォッチ9」編集責任者

2021年度/第4回マンション連続講座 坂田英督氏「防災とコミュニティ活動」

備蓄品の確保と“見える化”を トイレ用の袋は大量に

建築ネット主催2021年度マンション連続講座の第4回講座が12月8日、会場(新宿消費生活センター分館)とオンライン(ズーム)で開催されました。今回のテーマは「防災とコミュニティ」。講師は坂田英督氏(マンションコミュニティ研究会理事)です。この事業は新宿区の助成を受け9月から全6回の実施を予定し今回は第4回となります。これまでの3回はともに実践に即した内容が好評でした。

●負傷者の3~5割は家具転倒・落下から

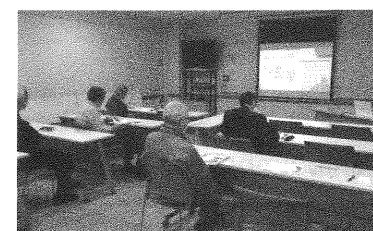
第4回の主要な点を以下に述べます。①地震はいつ起きてもおかしくない状況のもと、全国のマンション675.3万戸の内、旧耐震(40年以上前の建物で、震度5程度で倒壊しない)は約103万戸(約15%)あり危険な状態にある。新耐震の建物だから安心とは

言えず備えが必要となっている。旧耐震の建物では耐震工事と地震保険が重要となっている。住

民合意がしやすいように考えていくこと。②大規模災害にあたってマニュアルづくりは当然。防災用品の備蓄では「トイレの袋」が十分にあるかどうか、食料備蓄(米・水・火・薬)の必要量の確保。それらの備蓄品を“見える化”することが必須で、総会議案に載せているマンションもある。③災害発生前の備えで重要なのは家具の固定化。地震負傷者の30~50%は家具類の転倒、落下、移動が原因。連絡体制や、マンションの様々な「鍵」をチェックしておく。④防災にとっても建物の維持・管理にとっても住民同士のコミュニティ形成が重要であり、マンション集会施設の開放、「お助け隊」の活動、植栽などサークル活動を日頃から取り組んでいくよう心がける。

災害が多発している昨今、会場、オンラインとも熱心な質疑が交わされ防災への関心の高さがうかがわれました。

第5回は、1月12日(水)(午後6時15分~8時30分)、同会場で開催します(ズーム併用)。テーマは「築40年以上のマンションに長く住み続けるための対策」、講師は、千代崎一夫氏(住まいとまちづくりコープ代表)です。

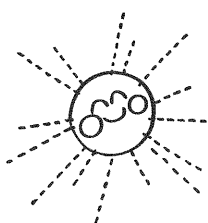


2021年度の マンション連続講座日程 (申込受付中)

日程	講師	テーマ
5 1/12 (水)	千代崎一夫 (住まいとまちづくりコープ)	築40年以上のマンションに長く住み続けるために
6 2/9 (水)	松岡康榮 (マンション管理士)	管理組合と管理会社の関係

講義は午後6時15分~8時30分。会場は新宿消費生活センター分館(JR高田馬場駅徒歩3分) 各回:一般500円、会員300円。オンライン視聴は事務局にお問い合わせください。

2022年 あけましておめでとうございます



理事長	荻野 廣己	常務理事	神谷 正生	理事	高平 茂
副理事長	榎本 武光	〃	古橋 温夫	〃	長谷川博道
〃	鐘ヶ江 正志	〃	渡辺 政利	〃	日比野 正壽
〃	藤井 勝明	理事	阿部 英幸	〃	宮下 幸子
専務理事	秋葉 千秋	〃	小俣 昭光	〃	高杉 康信
		〃	小玉 隆司	監事	上野 正美
		〃	佐竹 義男	〃	上原 和子